

「飛泉会」設立総会報告

2023年6月25日（日）、高根農村環境改善センター・多目的ホールで飛泉会の設立総会が開かれました。冒頭、2022年度の活動報告では、4月の山梨県議会議員選挙を中心にしてくり広げられた市民政治の実践が報告されました。その次に、飛矢崎雅也から今後の活動方針が話され、これまでの政治活動の実績を踏まえて、地域から草の根の民主政治を共に育てていくことを確認しました。その後決算報告が行われてともに承認されました。その後の意見交換では、「地域に密着して再出発をして欲しい。」「具体的な活動を積み重ねて市民の信頼を勝ち取って欲しい。」「この地域で『ひやざき雅也』を育てたい。」「政治に興味のない人、特に若い人に活動に参加してもらいたい。」といった意見が出されました。最後に、「ひやざき雅也を応援する会」の解散と「飛泉会」の設立が提案され、拍手で承認されました。それから新役員を選任して総会を終わりました。

支援者から

会員の皆様、お元気ですか。この度、後援会会長を引き受けました。会員の皆様の御協力をいただいて飛泉会の発展のために「ガンバリ」ますので、宜しくお願い致します。下川唐一

「飛泉会」会計の明野町在住、長田宏子と申します。この役目を果たすことによって、新たな政治活動に立ち向かう飛矢崎さんを微力ながら私なりに支援していきたいと思えます。飛泉会（後援会）の活動費は、皆様からの尊いご支援の会費・寄附金で賄われています。会計から、皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。長田宏子

この度、「飛泉会」監事という役を仰せつかりました。前の選挙で初めて活動に携わり、まだまだ右往左往する日々ですが、少しでもお役に立てるよう頑張ってお参ります。皆様からのご指導・ご鞭撻よろしくお願いたします。田辺祐子

市民政治と言うけれど、それは一体どのようなものでしょうか。市民とは誰のことで定義は明確と言えるでしょうか。この国の民主主義なるものへの信頼が揺らぎ、その限界と誤謬が露呈しています。国家なるものと民衆、権力者と被支配者の行動原理、戦争と平和、群衆心理や大衆なるものの本質についての分析や検証は近代とともに様々に説かれてきました。その分析の中には緻密で説得力あるものが少なくないのに、政治も経済もそして社会の仕組みも益々混沌とした難解迷路です。罵倒や紛争と今だけ金だけ自分だけの人間品質劣化が目立ちます。保守とかりべらるか右とか左とかの議論は、もはや定義も主体もあいまいで無意味な罵り合いに過ぎません。地方社会で「民主の民の民度が問われている」と言えば差別論とレッテルを貼られます。市民を有権者と言い換えるとして、その市民が選ぶ金科玉条の選挙の結果、世の中がどんどん壊れているという「自覚」が果たして市民にはあるでしょうか。物質的に豊かなのに夢も希望も持てず、利他の精神も薄く、個人幸福度の低い国、その諦観の原因はどこにあるのでしょうか。今、文明論的に大きな歴史の大変換への夜明け前にあると思えます。人類創成期の画期的な社会創造の真髄に、実は新しき地方地域社会づくりの為にもう一度学ぶべき原理原点があると確信する令和新時代であります。安藤義樹

皆様、初めまして。事務局員の外山と申します。新たに役員としてご参加させていただき大変光栄に思っております。これからの活動において、私ができる事は限られているかとは思いますが、会員の皆様のお役に立てる様に頑張っていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。外山湧吏

暮れなずむ四辻 僕はここにこうして立って 遠ざかる伯父さんを見送る 荷台にささやかな夢と希望と安寧を乗せ 隣町へと向かう伯父さん 僕はここにこうして立って… 市政とは、人びとのおだやかな日常を支えるものであって欲しいと思えます。目立つことなく。花嶋忍

飛泉会

私たちの会は、政治、教育、まちづくりなどを話し合い、多岐にわたる活動をしています。お力をお借りして、さらに豊かで広がりのある活動にしたいと願っています。ご参加をお待ちしています。

〒409-1501
山梨県北杜市大泉町西井出 8240-8444
電話：080-1036-5373（増田）
E-mail：hiyazaki.ouen@gmail.com
ウェブサイト：https://hiyazaki.com/



ひやざき通信 第13号 2023年10月1日発行 発行：飛泉会 編集：ひやざき通信編集部